解　説

第15章　　　　財政

大阪府の財政

令和２年度の普通会計決算実質収支は350億円の黒字

 大阪府地方財政状況調査によると、令和２年度の普通会計決算の状況は350億円の黒字で、13年連続の黒字です。

　歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う経済活動の停滞等により法人二税や特別法人事業譲与税は前年度決算から減少しましたが、制度融資預託金返還金や国庫支出金の増加等により、全体としては1兆2,072億円増加しました。

　歳出は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う医療体制確保や営業時間短縮協力金、制度融資預託金の増加等により、全体としては1兆2,072億円増加しました。

歳入

歳出

 大阪府普通会計歳入・歳出決算額の内訳

[第15章1、2表より]

大阪府の資産と負債

令和２年度の純資産は約１兆円

　大阪府会計局によると、令和3年3月31日現在、7兆4,042億円の資産と6兆3,507億円の負債があります。純資産は1兆535億円で、前年度に比べ580億円増加しました。

※大阪府では、平成23年度決算から、従来の官庁会計の仕組みに複式簿記・発生主義という企業会計の考え方を取り入れた「新公会計制度」を導入しています。

※貸借対照表は、財務諸表の作成基準日における資産、負債及び純資産の状況を明らかにするものです。

[大阪府会計局「大阪府の財務諸表　令和元年度」より]

市町村の財政

令和２年度の形式収支は759億円の黒字

 大阪府総務部によると、令和２年度の府内市町村普通会計決算額は、歳入は5兆2,491億円(前年度比23.6％増)、歳出は5兆1,732億円(同23.2％増)で、形式収支(歳入－歳出)は759億円の黒字です。

 歳入は科目別では、地方税が１兆6,840億円(前年度比2.5％減)、地方交付税が2,779億円(同3.2％減)、国府支出金は2兆3,214億円(同93.5％増)、地方債が3,015億円(同4.6％増)です。

 府内市町村の歳入の内訳

歳出は、目的別では民生費が最も大きく、１兆9,390億円(前年度比3.2％増)、構成比37.4％です。

 府内市町村の歳出の内訳

[第15章9表より]

※普通会計とは、共通の基準による統計上の会計区分を設定して地方公共団体間の財政比較が可能となるようにしたものです。